

うきは市立小・中学校のあり方（浮羽町域）についての  
意見書

令和7年11月

うきは市立小・中学校のあり方検討委員会



## はじめに

うきはの未来を創る子どもたちは、大きな可能性を秘めており、教育により一人一人の能力を最大限に引き出し、社会で活躍できる力を育むことが必要です。なかでも、学校教育においては、児童生徒が一定の集団の中で多様な見方や考え方触れ、互いに認め合い、切磋琢磨することで、一人一人の資質や能力を伸ばしていくことが求められています。

しかしながら、全国的な傾向である児童生徒の減少や学校施設の老朽化により、教育活動への影響が懸念される状況であり、子ども達の教育環境を整え、社会のニーズに応じた教育活動を開拓することが喫緊の課題となっています。

そのような中、令和6年12月に「うきは市立小・中学校のあり方検討委員会」が設置され、令和7年1月より、特に人口減少が顕著な浮羽町域について、「浮羽町域の小・中学校のあり方」について検討を行ってまいりました。

検討委員会では、小・中学校の現状、児童生徒数の推移等を踏まえながら、先進地視察や、3つの部会での協議、児童・生徒、保護者からのアンケート調査、ワークショップの実施など、様々な視点から「小・中学校のあり方」についてのご意見を伺いつつ、子ども達の未来を第一義に考え、7回にわたって検討を重ね、本書のとおり「うきは市立小・中学校のあり方（浮羽町域）についての意見書」をまとめました。

今後は、市教育委員会がこの意見を踏まえながら、より良い教育環境を実現していくことを強く望みます。

終わりに、熱心にご協議いただいた検討委員会の委員の皆さんをはじめ、保護者・地域の方々・教職員・児童・生徒の皆さんなど、本意見書の作成に関わっていただいた皆さんに心から感謝申し上げます。

令和7年11月13日

うきは市立小・中学校のあり方検討委員会

委員長 麻生 秀喜

## 目 次

1. うきは市立小・中学校のあり方検討委員会の意見	
(1) より良い教育環境づくりの実現について ······	1
(2) 魅力ある学校づくりの実現について ······	2
○ 児童（浮羽町域小学校 小学5～6年生）の意見	3
○ 生徒（浮羽中学校 中学1～3年生）の意見	3
○ 保護者（浮羽町域小・中学校の保護者）の意見	4
○ 浮羽町域の地域（7地区）からの意見	5
○ 市内在勤の教職員の意見	5
○ ワークショップでの意見	6

## 【資料編】

1. うきは市立小・中学校のあり方検討委員会設置要綱	8
2. うきは市立小・中学校のあり方検討委員会委員名簿	10
3. うきは市立小・中学校のあり方について検討の経過	11
4. 浮羽町域の小・中学校の児童・生徒数の推移	16
5. 浮羽町域の小・中学校の施設の現況	19
6. 小・中学校再編に関する国の動向	19
7. 小・中学校のあり方に向けての課題	20
8. 小・中学校のあり方についてのパターン	20
9. 部会での協議	21
10. 小・中学校のあり方についての意見	22
(1) 浮羽町域の小・中学校のあり方についての説明会	22
(2) 浮羽町域の新しい学校のあり方についてのアンケート	23
(3) 新しい学校のあり方についてのワークショップ	32

## 1. うきは市立小・中学校のあり方検討委員会の意見

浮羽町域の小・中学校のあり方については、令和7年1月から検討委員会を開催し、専門部会（3部会）でも協議しながら、これまで検討委員会を7回実施して検討を重ねてまいりました。

また、「浮羽町域の小・中学校のあり方についての説明会」や「浮羽町域の新しい学校についてのアンケート」、さらに「新しい学校のあり方についてのワークショップ」でのご意見等も伺いながら、浮羽町域の小・中学校のあり方について、当検討委員会としての意見を以下のとおりまとめました。

### （1）より良い教育環境づくりの実現について

浮羽中学校敷地内に小学校3校（山春小学校・大石小学校・御幸小学校）と浮羽中学校をまとめた施設一体型の学校とする。

#### ① 本市における適正な学校規模について

小・中学校における一定の集団規模を確保することの重要性を踏まえ、文部科学省の学級数の規模の基準を参考した学校とすること。

具体的には、集団活動やグループ活動などを通した協働的な学びの充実など、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い切磋琢磨することで資質・能力を伸ばすため、一定の児童生徒数の確保に努めること。

#### ② 学校再編を進めるうえでの留意事項について

学校施設においては、自然災害や不審者対策など、防災、防犯上の観点から、安全で安心な学習環境の確保に努めるとともに、子どもたちの学校生活や学習に影響が出ないように、スクールバス等の通学手段の整備に努めること。

## (2) 魅力ある学校づくりの実現について

運営については、義務教育学校とする。

### ① 再編を活かした学校づくりについて

学校再編によるメリットを最大限に活かし、教科担任制などの指導体制や、保護者や地域からの支援体制の充実など、特色ある学校、子どもたちが行きたい、保護者が学ばせたいと思う学校を目指すとともに、目に見える形で学力向上にも繋いでいくこと。

また、様々な形で子どもたちの居場所があり、多様な学びをすることができ、誰もが将来に希望を持つことができる魅力ある学校づくりに努めること。

### ② 地域と連携した学校づくりについて

うきはの子どもたちを地域とともに育んでいくため、うきはのよさを生かしたコミュニティ・スクール（※1）として学校と地域との連携・支援体制を充実させ、互いに交流を深めながら、地域の人たちが子どもたちの教育活動を支えやすい環境の整備に努めること。

また、学校再編後の学校施設や跡地の利活用については、地域の方々等の意見を充分に聴きながら、地域コミュニティの活性化につながる対応に努めること。

※1 コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みで、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。（文部科学省H P抜粋 総合教育政策局 地域学習推進課 地域学校協働推進室 掲載）

## ○ 児童（浮羽町域の小学校 小学5～6年生）の意見

9月8日から19日にかけて、浮羽町域の小学校に在校する児童（小学5、6年生）に対して、「新しい学校のあり方についてのアンケート」を実施しました。

児童の皆さんから新しい学校への主な意見は、以下のとおりです。

- ・ 体育館にエアコンをつけてほしい。
- ・ 校舎や運動場を広くしてほしい。
- ・ エレベーター等のバリアフリーな設備がほしい。
- ・ 制服ではなく私服にしてほしい。
- ・ 売店、自動販売機を作つてほしい。
- ・ 小学生も自転車通学にしてほしい。
- ・ 学校行事（桜祭りやフルーツコンサート等）を残してほしい。
- ・ 楽しい学校にしたい。

## ○ 生徒（浮羽中学校 中学1～3年生）の意見

9月8日から19日にかけて、浮羽中学校に在校する生徒（中学1年生から中学3年生）に対して、「新しい学校のあり方についてのアンケート」を実施しました。

生徒の皆さんからの新しい学校への主な意見は、以下のとおりです。

- ・ 校舎にエレベーター、体育館にエアコンをつけてほしい。
- ・ 混雑防止の為、校舎や廊下、駐車場を広くして欲しい。
- ・ 行事などは小学生と中学生で分けた方がいいものと分けなくてもいいものがあるから、そこははっきりと中学生、小学生に分けてほしい。
- ・ 学校を建設する場所によっては、通学距離が遠くなる人も出てくるので、交通手段としてスクールバスを十分に手配するといいと思う。
- ・ 小学校の伝統的なものや学校行事（みざれ太鼓、桜祭りやフルーツコンサートなど）を残してほしい。
- ・ 新しい学校は、みんなでよりよく楽しく、少しでも全員が仲良くできるようにしてほしい。

## ○ 保護者（浮羽町域小・中学校の保護者）の意見

9月2日から9月5日の4日間、浮羽町域の小・中学校に在校する児童・生徒の保護者に対して、学校ごとに保護者説明会を開催し、浮羽町域の小・中学校のあり方について検討委員会の中間まとめを報告しました。

説明会での保護者の皆さんからの主な意見は、以下のとおりです。

### （保護者説明会）

- ・ 子ども達のことを第一に考えて検討してほしい。
- ・ 浮羽中学校の老朽化は喫緊の課題のため、早急に学校再編を進めてほしい。
- ・ 校舎建替えや新校舎への移行時には、学校活動、部活動への影響、騒音対策などの教育環境にできるだけ配慮してほしい。
- ・ スクールバスなど通学環境にも配慮してほしい。
- ・ 他の市町からも通いたくなるような魅力的な学校にしてほしい。
- ・ 今ある各学校の良さを生かした学校教育を継承してほしい（山春の茶摘みなど）。

さらに、保護者説明会終了後の9月8日から19日にかけて、「新しい学校のあり方についてのアンケート」を実施しました。

保護者の皆さんからの新しい学校への主な意見は、以下のとおりです。。

### （アンケート）

- ・ 少人数学級では、教員と子ども一人一人の密接な関係がありそれが良さだと感じていた。その関係を再編後にも維持できるよう努めてほしい。
- ・ 広い駐車場や送迎場を設け、送迎がしやすいようにしてほしい。
- ・ 小学生と中学生が1つの校舎で共に過ごすことは、互いに良い交流になるのかもしれないと思う反面、小学生は中学生が居ることに対し萎縮したりしないかという不安はある。また、良くも悪くも自分より上の学年を見て育つ為、そういったところの影響も気になる部分ではある。
- ・ 通学距離が遠くなる子どもたちの登下校の安全性をしっかりとと考え、通学路の安全性を確保してもらいたい。
- ・ 工事期間中、子どもたちの学習や部活動に支障がないようにして欲しい。
- ・ それぞれの学校で行っていた独自の特色ある行事は残して欲しい。
- ・ どんな子どももスムーズに再編後の学校に通えるように、再編前から各校の交流などをしてほしい。何よりもファーストで進めてほしい。

## ○ 浮羽町域の地域（7地区）からの意見

9月22日から10月2日の7日間、浮羽町域の地域住民に対して、地区ごとに地域住民説明会を開催し、浮羽町域の小・中学校のあり方について検討委員会の中間まとめを報告しました。

説明会での地域住民の皆さんからの主な意見は、以下のとおりです。

- ・ 新しい学校の建設期間中における教育環境に影響（部活動・騒音・運動場利用等）がないようにしてほしい。
- ・ 新校舎の建設場所として現浮羽中学校敷地が候補になっているが、小中学校が入るだけの敷地面積は適正か、駐車場の確保はできるのか。また、最近多くなっている自然災害に十分対応できる校舎を新築してほしい。
- ・ 通学方法（スクールバス）や学童について検討してほしい。
- ・ 再編により学校と自治協議会や地域行事との関係が希薄になるのではないか。地域の特色・伝統行事を継続し、跡地活用も含めて地域振興の検討を並行して協議してほしい。
- ・ 今後も、学校再編についての周知をしてほしいし、保護者や地域住民を交えた意見交換の場を設けてほしい。

## ○ 市内在勤の教職員の意見

浮羽町域の小・中学校の教職員に対して、8月25日、各学校ごとに教職員への説明会を開催し、浮羽町域の小・中学校のあり方について検討委員会の中間まとめを報告しました。

また、吉井町域の小中学校の教職員に対しては、8月25日に実施した浮羽町域の教職員説明会時の動画を録画配信しました。教職員の皆さんからの主な意見は、以下のとおりです。

- ・ 学校再編による教職員の負担増がないよう教職員の加配措置等十分な配置をしてほしい。
- ・ 新校舎建設の場合、気温、落雷、竜巻など自然現象や自然災害に対応した、児童・生徒の安全面を充分に配慮した学校にしてほしい。
- ・ 児童、各家庭、教師にとって過ごしやすい学校の形にしてほしい。
- ・ 学校再編により、教育条件整備などに十分な予算が確保できるようにしてほしい。

## ○ ワークショップでの意見

うきは市内在住の18歳以上の皆さんを対象として、10月8日に、「新しい学校のあり方についてのワークショップ」を実施しました。

ワークショップでの主な意見は、以下のとおりです。

- ・ 子どもファーストに取り組むことが特に重要であり、その上で地域の方や地元企業との交流をおこない、地元への愛着を持つてもらうことがよい。
- ・ 家庭と連携した良好な教育環境や、子どもの居場所となるような施設が重要であり、その中で、子ども達が多様な教育を享受できる環境整備が望ましい。
- ・ 充実した施設を整備するハード面が特に重要であり、その上で子ども達の教育の充実や地域との関わりの構築を行うことがよい。

浮羽町域の小・中学校に在校する児童・生徒の皆さん、浮羽町域の小・中学校の児童・生徒の保護者の皆さん、浮羽町域の地域住民の皆さん、市内在住の18歳以上の皆さん、浮羽町域の小・中学校の教職員の皆さんからいただいたご意見等については、今後、開校に向けて継続的に協議し、課題解決に向けた取り組みを進めていくことが重要です。

## 【資料編】

## 1. 検討委員会の設置

### うきは市立小・中学校のあり方検討委員会設置要綱

令和6年12月6日  
教育委員会告示第10号

#### (設置)

第1条 うきは市立小・中学校のより良い学校教育環境のあり方について検討を行うため、うきは市立小・中学校のあり方検討委員会（以下「検討委員会」という。）を設置する。

#### (所掌事務)

第2条 検討委員会の所掌事務は、次のとおりとする。

(1) 学校のあり方における基本方針及び方策（以下「基本方針等」という。）の策定に関する事項

(2) 前各号に掲げるもののほか、うきは市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が必要と認める事項

2 検討委員会は、前項の各号に掲げる事項について協議を行い、教育委員会に意見を述べるものとする。

#### (組織)

第3条 検討委員会は、委員25人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者で構成する。

(1) 優れた識見を有する者

(2) 保護者の代表者

(3) 地域住民の代表者

(4) 関係する学校の代表者

(5) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める者

#### (任期)

第4条 委員の任期は、依頼の日から教育委員会が基本方針等を策定する日までとする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

#### (委員長及び副委員長)

第5条 検討委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、検討委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

#### (会議)

第6条 検討委員会の会議は、委員長が必要に応じて招集し、委員長がその議長となる。

2 委員の過半数の出席があれば、会議を開くことができる。

3 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、その意見又は説明を求めることができる。

(部会)

第7条 検討委員会の円滑な運営を図るため、部会を置くことができる。

2 前条の規定は、部会の会議について準用する。この場合において、同条中「検討委員会」とあるのは「部会」と、「委員長」とあるのは「部会長」と読み替えるものとする。

(会議の傍聴)

第8条 会議は傍聴することができる。ただし、委員長が必要と認めるときは、委員の過半数の同意により、会議を非公開とすることができる。

2 傍聴の手続き、傍聴人の守るべき事項その他傍聴に関して必要な事項は、うきは市教育委員会傍聴人規則（平成17年教育委員会規則第3号）に準ずる。

(費用弁償)

第9条 委員には、うきは市職員等旅費に関する条例（平成17年うきは市条例第53号）第2条第5項の規定に基づき、費用弁償を支払うものとする。

(庶務)

第10条 検討委員会の庶務は、学校教育課教育総務係において処理する。

(委任)

第11条 この告示に定めるもののほか、検討委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。

## 2. うきは市立小・中学校のあり方検討委員会 委員名簿

役職	氏名	所属等	区分
委員長	麻生 秀喜	前教育長、元浮羽中学校長	学識経験者
委員	佐藤 弘法	浮羽中学校保護者代表	保護者代表
委員	佐々木 博崇	山春小学校保護者代表	保護者代表
委員	佐藤 智岳	大石小学校保護者代表	保護者代表
委員	吉田 千晶	御幸小学校保護者代表	保護者代表
委員	加藤 菜月	保育所保育園保護者代表	保護者代表
委員	江藤 芳雄	山春地区代表	地域代表
委員	石井 準一郎	大石地区代表	地域代表
委員	物部 義則	御幸地区代表	地域代表
委員	國武 輝興	妹川地区代表	地域代表
委員	松木 高雄	新川地区代表	地域代表
委員	渡邊 信秀	田籠地区代表	地域代表
委員	佐藤 景一	小塩地区代表	地域代表
委員	梶原 嘉将	中学校学校評議員代表	地域代表
副委員長	白石 朋美	小学校学校評議員代表	地域代表
委員	竹並 俊和	浮羽中学校長	学校代表
委員	金子 敬尋	吉井中学校長	学校代表
委員	石井 雄児	山春小学校長	学校代表
委員	古賀 光成	大石小学校長	学校代表
委員	松田 清孝	御幸小学校長	学校代表
委員	大隈 由佳里	保育所保育園代表	子育て関係者
委員	岩淵 和明	総務産業常任委員長	市議會議員
委員	高木 亜希子	厚生文教常任委員長	市議會議員
委員	良永 秀幸	教職員組合代表	教職員組合
委員	石井 太	市長公室長	市職員

### 3. うきは市立小・中学校のあり方についての検討の経過

#### (1) うきは市立小・中学校のあり方検討委員会

	期日・場所	内容等
第1回	令和7年1月31日（金） 13：30～15：30  うきは市役所 3階 大会議室	○委員紹介 ○検討委員会の位置づけと役割について ○うきは市立小中学校のあり方検討委員会設置要綱について ○委員長及び副委員長選出 ○議事 ・うきは市の現況と校区別的小中学校の人口分布 ・施設の劣化状況と施設毎の状況 ・浮羽町域小中学校の児童生徒数の現状と推移 ・今後のスケジュール ・質疑応答
第2回	令和7年2月21日（金） 10：00～11：30  うきは市役所 3階 大会議室	○議事 ・施設毎の維持・更新コスト ・施設のコスト情報 ・会計年度任用職員（学校）の状況 ・今後のスケジュール ・質疑応答 ・浮羽中学校視察
第3回	令和7年3月25日（火） 18：00～20：00  かわせみホール コミュニティルーム	○議事 ・学校のあり方 ・学校のあり方についての意見交換 ・今後のスケジュール ・質疑応答
第4回	令和7年5月8日（木） 18：00～19：30  うきは市立図書館 3階 大会議室	○議事 ・小中学校の再編パターン ・パターンごとの概算コスト ・パターンごとの比較 ・部会（案） ・今後のスケジュール ・質疑応答

	期日・場所	内容等
第5回	令和7年6月26日（木） 18:00～18:40  うきは市立図書館 3階 大会議室	○議事 ・各部会の協議結果 ・アンケートの実施 ・新しい学校のイメージ図（案） ・今後のスケジュール ・質疑応答
第6回	令和7年7月16日（水） 18:00～19:00  うきは市立図書館 3階 大会議室	○議事 ・うきは市立小・中学校のあり方（浮羽町域）について（中間まとめ）（案） ・うきは市浮羽町域の小・中学校のあり方について アンケート調査（案） ・今後のスケジュール ・質疑応答
第7回	令和7年10月29日（水） 18:30～19:30  うきは市立図書館 3階 大会議室	○議事 ・アンケート結果について ・教職員・保護者・地域住民説明会での意見について ・ワークショップでの意見について ・うきは市立小・中学校のあり方（浮羽町域）についての意見書（案） ・今後のスケジュール ・質疑応答

## (2) 部会

部会名		期日・場所	内容等
保護者 部会	第1回	令和7年5月13日（火） 18:30～ うきは市民ホール	○議事 ・第4回までの協議内容について ・質疑応答
	第2回	令和7年5月27日（火） 18:30～ うきは市民ホール	○議事 ・第4回までの協議内容について ・質疑応答
地域 部会	第1回	令和7年5月26日（月） 15:30～17:15 御幸コミュニティセンター	○議事 ・第4回までの協議内容について ・質疑応答
	第2回	令和7年6月5日（木） 13:00～14:30 御幸コミュニティセンター	○議事 ・第4回までの協議内容について ・質疑応答
教育 部会	第1回	令和7年5月16日（金） 10:00～11:00 うきは市民ホール	○議事 ・第4回までの協議内容について ・質疑応答
	第2回	令和7年6月4日（水） 10:30～11:30 うきは市民ホール	○議事 ・第4回までの協議内容について ・質疑応答
	第3回	令和7年10月16日（木） 9:30～10:30 吉井庁舎3階 会議室	○議事 ・小中一貫教育制度（義務教育学校と小中一貫型小学校・中学校）について ・質疑応答

(3) 浮羽町域の小・中学校のあり方についての説明会

	期日・場所	内容等
教職員説明会	令和7年8月25日(月) 11:30～ 御幸小学校 14:00～ 山春小学校 15:00～ 浮羽中学校 16:00～ 大石小学校	○浮羽町域の小・中学校のあり方について ・説明(パワーポイント)  ※吉井町域の教職員には説明動画を配信 (令和7年8月26日(火)に配信)
保護者説明会	令和7年9月2日(火) 19:00～20:00 山春コミュニティセンター	○浮羽町域の小・中学校のあり方について ・説明(パワーポイント) ・質疑応答
	令和7年9月3日(水) 19:00～20:00 大石小学校	○浮羽町域の小・中学校のあり方について ・説明(パワーポイント) ・質疑応答
	令和7年9月4日(木) 19:00～20:30 うきは市立図書館 小ホール	○浮羽町域の小・中学校のあり方について ・説明(パワーポイント) ・質疑応答
	令和7年9月5日(金) 19:00～20:00 うきは市立図書館 小ホール	○浮羽町域の小・中学校のあり方について ・説明(パワーポイント) ・質疑応答
地域住民説明会	令和7年9月22日(月) 19:00～20:00(御幸地区) うきは市立図書館 小ホール	○浮羽町域の小・中学校のあり方について ・説明(パワーポイント) ・質疑応答
	令和7年9月24日(水) 19:00～20:00(山春地区) 山春コミュニティセンター	○浮羽町域の小・中学校のあり方について ・説明(パワーポイント) ・質疑応答
	令和7年9月25日(木) 19:00～20:00(大石地区) 大石コミュニティセンター	○浮羽町域の小・中学校のあり方について ・説明(パワーポイント) ・質疑応答
	令和7年9月30日(火) 19:00～20:00(小塩地区) 小塩コミュニティセンター	○浮羽町域の小・中学校のあり方について ・説明(パワーポイント) ・質疑応答
	令和7年10月1日(水) 19:00～20:00(妹川地区) 妹川コミュニティセンター	○浮羽町域の小・中学校のあり方について ・説明(パワーポイント) ・質疑応答
	令和7年10月2日(木) 19:00～20:00(新川・田篠地区) 新川コミュニティセンター	○浮羽町域の小・中学校のあり方について ・説明(パワーポイント) ・質疑応答

#### (4) 浮羽町域の新しい学校についてのアンケート

種別	調査対象	調査方法	実施時期
① 小学生 アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 山春小学校、大石小学校、御幸小学校の児童</li> <li>● 調査対象は5、6年生</li> </ul>	学校で、タブレット端末により調査票（Google Form）を配布・回答	9月8日（月）～ 9月19日（金）
② 中学生 アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 浮羽中学校の生徒</li> <li>● 調査対象は1～3年生</li> </ul>	学校で、タブレット端末により調査票（Google Form）を配布・回答	9月8日（月）～ 9月19日（金）
③ 保護者 アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 浮羽町域の小・中学生の保護者</li> <li>● 子どもが複数人いる場合は、1家庭につき1回答</li> </ul>	学校からtetoruでURL、QRコードにより、調査票（Google Form）を配布・回答	9月8日（月）～ 9月19日（金）

#### (5) 新しい学校についてのワークショップ

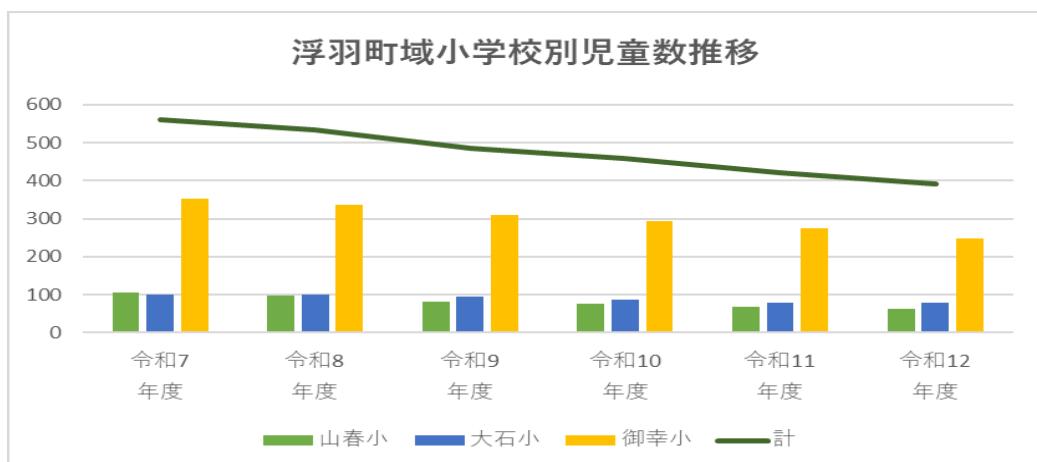
期日・場所	参加者	内容等
10月8日（水） 19:00～20:30 うきは市立図書館 3階 大会議室	うきは市在住の 18歳以上の方	<p>グループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新しい学校に期待すること</li> <li>● 地域で協力できること</li> </ul>

## 4. 浮羽町域の児童・生徒数推移

### (1) 浮羽町域の小学校（3校）推移 (R7.5.1 現在)

(単位：人)

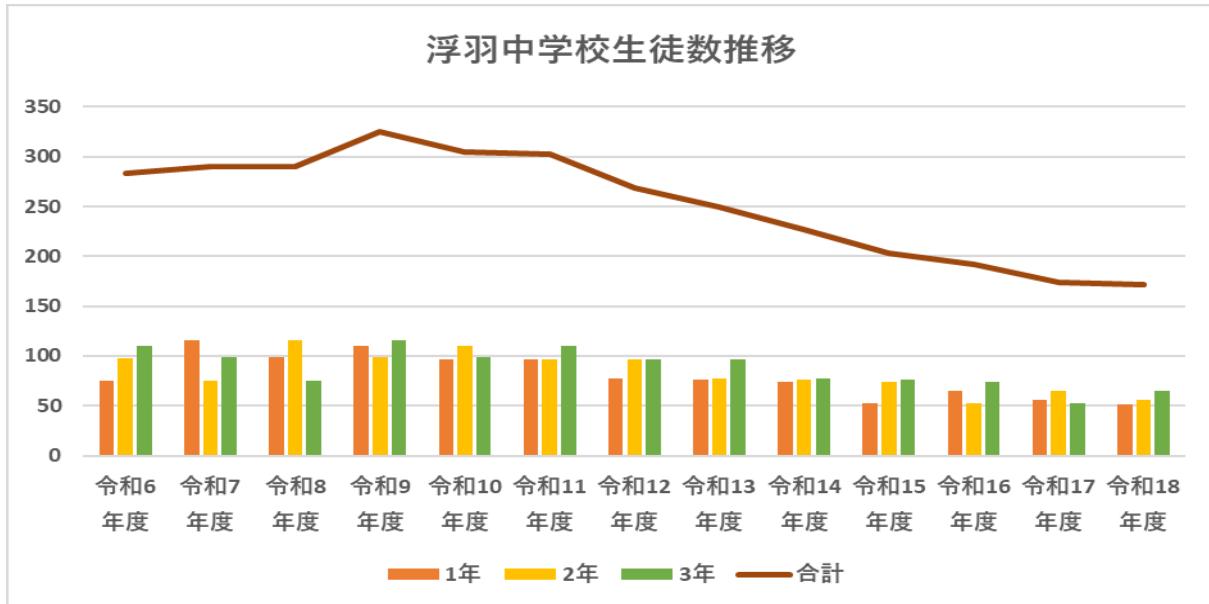
学校名	令和7 年度	令和8 年度	令和9 年度	令和10 年度	令和11 年度	令和12 年度
山春小	105	98	82	77	69	63
大石小	101	100	94	88	78	80
御幸小	353	335	309	292	274	248
計	559	533	485	457	421	391



### (2) 中学校生徒数（学校別）推移 (R7.5.1 現在)

(単位：人)

	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	R 11 年度	R 12 年度	R 13 年度	R 14 年度	R 15 年度	R 16 年度	R 17 年度	R 18 年度
1年	113	100	110	96	94	80	79	74	62	68	58	50
2年	75	113	100	110	96	94	80	79	74	62	68	56
3年	100	75	113	100	110	96	94	80	79	74	62	68
合計	288	288	323	306	300	270	253	233	215	204	188	175



### (3) うきは市における将来人口推計（独自推計）

都道府県	市区町村	R 2年	R 7年	R 12年	R 17年	R 22年	R 27年	R 32年
福岡県 (0~14歳)	全体 (人)	667,107	624,547	576,964	548,624	539,775	528,083	506,458
福岡県	うきは市 (人) (0~14歳)	3,475	2,962	2,405	2,078	1,871	1,710	1,548
	0~14歳の指數 ※1	100	85.2	69.2	59.8	53.8	49.2	44.5
0~14歳の指 数で算定	小・中学生 (人) 【全体】	2,313	1,971	1,601	1,383	1,244	1,138	1,029
0~14歳の指 数で算定	小・中学生 (人) 【浮羽町域】※2	988	842	684	591	532	486	440

「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」 国立社会保障・人口問題研究所（社人研）公表

※1 0~14歳人口および指數（令和2（2020）年=100とした場合）

※2 浮羽町域の小・中学生の人数=(令和2(2020)年の人数 988人)×(該当年の0~14歳の指數)

(4) 学級数の推定

	年度	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 12 (2030)				R 32 (2050)
		学年	児童 生徒数 (人)	児童 生徒数 (人)	児童 生徒数 (人)	通常 学級 数	特別 支援 学級数	合計 学級 数
小学校 (浮羽町域)	1	77	79	51	2			35
	2	95	80	56	2			38
	3	95	94	65	2			44
	4	109	96	53	2			36
	5	98	110	74	3			51
	6	114	100	76	3			52
	計	588	559	375	14	7	21 ※1	256
中学校 (浮羽中)	1	75	113	77	3			53
	2	98	75	96	3			66
	3	110	100	96	3			65
	計	283	288	269	9	3	12 ※2	184
小中学生	合計	871	847	644				440
備考		R6.5.1 現在	R7.5.1 現在	推計値				推計値

※1 小学校は、1、2年生 最大30人/クラス、3～6年生 最大35人/クラス、

※2 中学校は、令和8年度から 最大35人/クラスを導入予定（義務標準法改正予定）

## 5. 浮羽町域の小・中学校の施設の現況

### ○ 浮羽中学校

学校施設は建築後約 50 年が経過し、全体的に老朽化している。屋根や外壁のほか電気・機械設備の老朽化が著しく、全体的に早急な対策が必要である。

### ○ 山春小学校

特別教室棟や北教室棟、南教室棟、給食室は、建築後 35 年以上が経過し、屋根や外壁などを中心に老朽化している。

管理教室棟は、建築後 25 年以上が経過しているため、予防保全のための長寿命化改修が必要な時期にある。

### ○ 大石小学校

西特別教室棟は屋上防水改修を実施し、屋内運動場は外壁改修を実施しているが、いずれも建築後 45 年以上経過しているため、今後も予防保全的な維持管理や長寿命化対策が必要である。

### ○ 御幸小学校

御幸小学校は令和元年度から令和 4 年度にかけて大規模改造工事を実施し、長寿命化を図った。今後、耐用年数まで良好な状態を保つために予防保全的な維持管理が必要である。

## 6. 小・中学校再編に関する国の動向

項目	内容	参考資料
背景	少子化の進行により、学校の小規模化が進行。 <b>教育の質の確保や学校運営の効率化</b> が課題となっている。	「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」（文部科学省）
基本方針	小・中学校では、一定の集団規模が確保されていることが望ましい。	同上
適正規模の目安	小・中学校ともに <b>12～18 学級が標準</b> とされている。学級を超えた集団編成のため、少なくとも <b>1 学年 2 学級以上</b> あることが望ましい。	同上
通学距離の基準	小学校：片道約 4km 以内、中学校：約 6km 以内が目安。ただし、地域の実情に応じて柔軟に対応。	同上
再編の考え方	義務教育の連続性と学習の系統性の確保（※1）、中 1 ギャップの解消、地域の実情に応じた柔軟な教育の実現などの理由から、「 <b>小中一貫校</b> 」や「 <b>義務教育学校</b> 」が推奨されている。	「小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引」（文部科学省） 「小中連携、一貫教育の推進について」（文部科学省）
支援策	再編や施設の複合化・共用化に対する財政的支援や、計画策定に関する指導・助言を実施。	「令和 5 年度 学校の適正規模・適正配置及びより良い教育環境の実現に向けた調査報告書」（文部科学省）

※1 分かりやすく、順番に無理なく勉強ができること。

## 7. 小・中学校のあり方に向けての課題

- 各小中学校の老朽化に対応した計画とする。  
(浮羽中学校の建替えを前提とする。)
- 教育環境の改善を第一に考えた計画とする。  
(児童生徒数減少への対応、現在の教育環境・課外活動環境の維持・改善など)
- コスト面(建設費、維持管理・運営費)に配慮した計画とする。  
(長期的なコストにも配慮する。)
- 地域コミュニティの持続可能性にも配慮する。  
(通学手段としての公共交通の充実、小学校跡地の継続的なコミュニティ拠点活用など)
- うきは市全体のまちづくりとの整合性に配慮する。  
(コンパクト&ネットワークシティ(串団子型都市構造)への配慮。)

## 8. 小・中学校のあり方についてのパターン

パターン	概要
案1 施設一体型 (浮羽中敷地内)	浮羽中学校敷地内に小・中学校をまとめた施設の新築。 小学校3校(山春小・大石小・御幸小)をまとめる。
案2 施設一体型 (御幸小付近)	小学校3校(山春小・大石小・御幸小)をまとめる。 御幸小学校付近に中学校を主とした施設の新築。 (小学校3校をまとめることで不足する小学校分の教室等を含めた施設を新築。)
案3 施設分離型 (浮羽中敷地内と 御幸小学校)	浮羽中学校敷地内に小・中学校をまとめた施設を新築。 小学校2校(山春小、大石小)をまとめる。 御幸小学校は現行のままとする。
案4 現行どおり	浮羽中学校敷地内に中学校のみ新築。 小学校は3校とも現行のままとする。

## 9. 部会での協議

種別	保護者部会	地域部会	教育部会
1. 全体の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの教育・育成環境の観点から、「<u>小中一体型</u>」が望ましい。</li> <li>小中教職員の意見・情報交換が容易であり、教育レベルの向上や子ども達への細やかな配慮が期待できるとして、「<u>義務教育学校</u>を望む意見」が多数あった。</li> <li>新校舎の整備箇所は、<u>浮羽中学校敷地内（案1）が望ましい</u>との結論に至った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少子化等の社会背景を考慮すると「<u>小中一体型</u>」が望ましい。但し、地域と学校の関係の希薄化への懸念から現状維持を望む意見もあった。</li> <li>新校舎の整備箇所は、<u>浮羽中学校敷地内（案1）が望ましい</u>との結論に至った。但し、通学利便性や地域活性化の観点から、まちの中核部がよいという意見や、地域に母校がないと寂びれるのではないかと懸念する意見もあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な活動や子ども達の切磋琢磨する力を養っていくには一定規模の児童生徒数が必要であり、将来の児童生徒数の推移等も考慮し、「<u>小中一体型</u>」が望ましい。</li> <li>新校舎の整備箇所は、<u>浮羽中学校敷地内（案1）が望ましい</u>との結論に至った。但し、現在の歪な敷地形状を充分考慮して整備してほしいとの意見があった。</li> <li>小中一貫校か義務教育学校については、子どもたちが9年間の系統的・連続的な学びを進めていくには、小・中の区別なく子どもの情報共有し、指導・支援ができる「<u>義務教育学校が望ましい</u>」との結論に至った。</li> </ul>
2. 主な 意見	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>スクールバス等の運行や学童の整備等</u>について、今後も検討が必要である。</li> <li>小中一貫教育により<u>目に見える形で学力向上に繋がってほしい</u>。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>地域と学校との関わり合いの希薄化</u>を懸念する声が多く、新しい学校と同時に廃校となる学校<u>跡地の活用方策</u>も併せて検討していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中一貫校か義務教育学校については、「<u>義務教育学校が望ましい</u>」との結論に至った。</li> </ul>

## 10. 小・中学校のあり方についての意見

### (1) 浮羽町域の小・中学校のあり方についての説明会

	保護者説明会	地域住民説明会	教職員説明会
1. 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達のことを第一に考えて検討してほしい。</li> <li>・浮羽中学校の老朽化は喫緊の課題のため、早急に学校再編を進めてほしい。</li> <li>・校舎建替えや新校舎への移行時には、教育環境（学校活動、部活動への影響、騒音対策など）にできるだけ配慮してほしい。</li> <li>・通学環境に配慮してほしい（スクールバスなど）。</li> <li>・他の市町からも通いたくなるような魅力的な学校にしてほしい。</li> <li>・今ある各学校の良さを生かした学校教育を継承してほしい（山春小の茶摘みなど）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい学校の建設期間中ににおける教育環境に影響（部活動・騒音・運動場利用等）がないようにしてほしい。</li> <li>・新校舎の建設場所として現浮羽中学校敷地が候補になっているが、小中学校が入るだけの敷地面積は適正か、駐車場の確保はできるのか。また、最近多くなっている自然災害に十分対応できる校舎を新築してほしい。</li> <li>・通学方法（スクールバス）や学童について検討してほしい。</li> <li>・再編により学校と自治協議会や地域行事との関係が希薄になるのではないか。地域の特色・伝統行事を継続し、跡地活用も含めて地域振興の検討を並行して協議してほしい。</li> <li>・今後も、学校再編についての周知をしてほしいし、保護者や地域住民を交えた意見交換の場を設けてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校再編による教職員の負担増がないよう教職員の加配措置等十分な配置をしてほしい。</li> <li>・新校舎建設の場合、自然現象（気温、落雷、竜巻等）に対応した、児童・生徒の安全面を充分に配慮した学校にしてほしい。</li> <li>・児童、各家庭、教師にとって過ごしやすい学校の形にしてほしい。</li> <li>・学校再編により、教育条件整備などに十分な予算が確保できるようにしてほしい。</li> </ul>

(2) 浮羽町域の新しい学校のあり方についてのアンケート

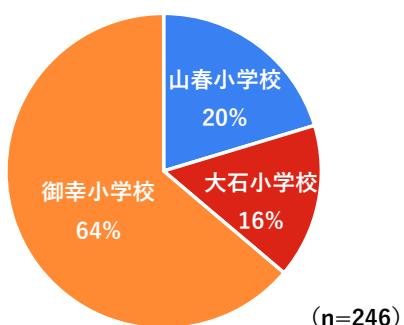
区分	新しい学校への主な意見や要望	全 体
児童 (小5 ～小6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 体育館にエアコンをつけてほしい。</li> <li>● 校舎や運動場を広くしてほしい。</li> <li>● エレベーター等のバリアフリーな設備がほしい。</li> <li>● 制服ではなく私服にしてほしい。</li> <li>● 売店、自動販売機を作ってほしい。</li> <li>● 小学生も自転車通学にしてほしい。</li> <li>● 学校行事（桜祭りやフルーツコンサート等）を残してほしい。</li> <li>● 楽しい学校にしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 期待すること →新しい友達ができるることを楽しみにしている。</li> <li>● 不安なこと →今の学校がなくなることに寂しさを感じている。</li> <li>● 新しい学校に望むこと →芝生や広い運動場・明るい教室、季節行事を地域の人と楽しむ場を望む声が多い。 →自然体験・クラブ活動・学校行事など、「地域や仲間と一緒に活動できる場」への期待が強い。</li> </ul>
生徒 (中1 ～中3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 校舎にエレベーター、体育館にエアコンをつけてほしい。</li> <li>● 混雑防止の為、校舎や廊下、駐車場を広くして欲しい。</li> <li>● 行事などは小学生と中学生で分けた方がいいものと分けなくともいいものがあるから、そこははっきりと中学生、小学生に分けてほしい。</li> <li>● 学校を建設する場所によっては、通学距離が遠くなる人も出てくるので、交通手段としてスクールバスを十分に手配するといいと思う。</li> <li>● 小学校の伝統的なものや学校行事（みざれ太鼓、桜祭りやフルーツコンサートなど）を残してほしい。</li> <li>● 新しい学校は、みんなでよりよく楽しく、少しでも全員が仲良くできるようにしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 期待すること →新しい校舎や大規模行事に対して期待する声が多く、学びや活動の幅が広がることを歓迎している。</li> <li>● 不安なこと →小学生との関わりや生活リズムの違いへの不安、通学距離の増加への懸念がある。</li> <li>● 「切磋琢磨できる仲間が増える」「クラス替えで刺激がある」といった肯定意見も多い。</li> <li>● 地域と連携した行事や、キャリア教育などの「学びの広がり」を求める声もある。</li> </ul>

区分	新しい学校への主な意見や要望	全 体
保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 少人数学級では、教員と子ども一人一人の密接な関係がありそれが良さだと感じていた。その関係を再編後にも維持できるよう努めてほしい。</li> <li>● 広い駐車場や送迎場を設け、送迎がしやすいようにしてほしい。</li> <li>● 小学生と中学生が 1 つの校舎で共に過ごすことは、互いに良い交流になるのかもしれないと思う反面、小学生は中学生が居ることに対し萎縮したりしないかという不安はある。また、良くも悪くも自分より上の学年を見て育つ為、そういったところの影響も気になる部分ではある。</li> <li>● 通学距離が遠くなる子どもたちの登下校の安全性をしっかりとと考え、通学路の安全性を確保してもらいたい。</li> <li>● 工事期間中、子どもたちの学習や部活動に支障がないようにして欲しい。</li> <li>● それぞれの学校で行っていた独自の特色ある行事は残して欲しい。</li> <li>● どんな子どももスムーズに再編後の学校に通えるように、再編前から各校の交流などをしてほしい。何より子どもファーストで進めてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 必要だと思うこと →教育環境の充実（広い運動場・ICT 設備・安全な通学環境）を強く求める声が多い。</li> <li>● 不安なこと →少人数学級の良さが失われることや、教師が一人ひとりを把握しにくくなることへの不安もある。</li> <li>● 「地域の人が関わる授業（ゲストティーチャーなど）」や「子どもが地域行事に参加する仕組み」への期待が高い。</li> <li>● 通学距離やスクールバスの安全性、放課後の居場所（学童・部活動）の確保が課題として挙がった。</li> </ul>

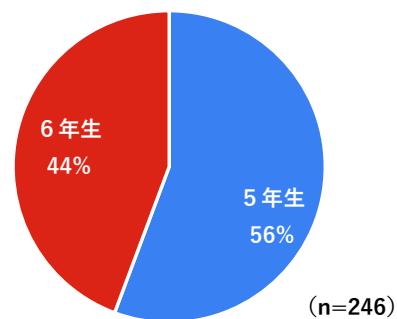
## ◎ アンケート結果

### 1) 児童（浮羽町域の小学校 小学5年生～6年生）

1. あなたの学校名を教えてください。



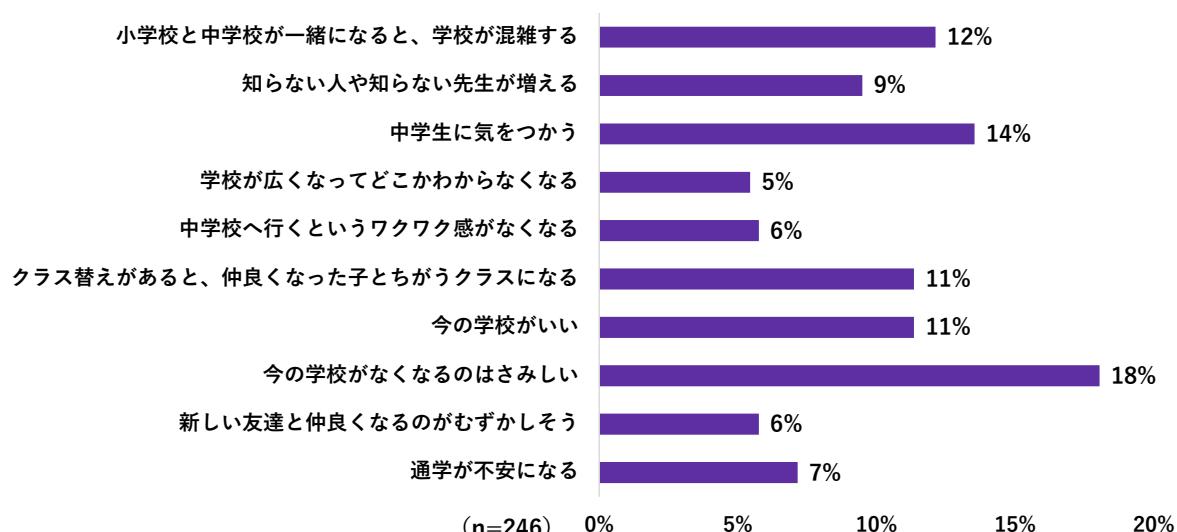
2. あなたの学年を教えてください。



3. 新しい学校を建てて、3つの小学校と浮羽中学校が1つの学校になるとしたら、「なるといいな」と思うものがありますか。※3つまで選べます

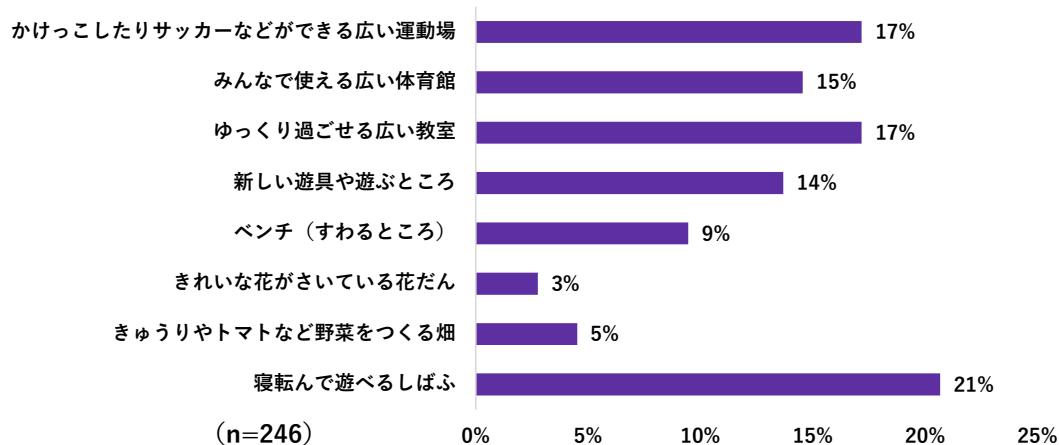


4. 新しい学校を建てて、3つの小学校と浮羽中学校が1つの学校になるとしたら、「これは気になる」と思うものがありますか。※ 3つまで選べます



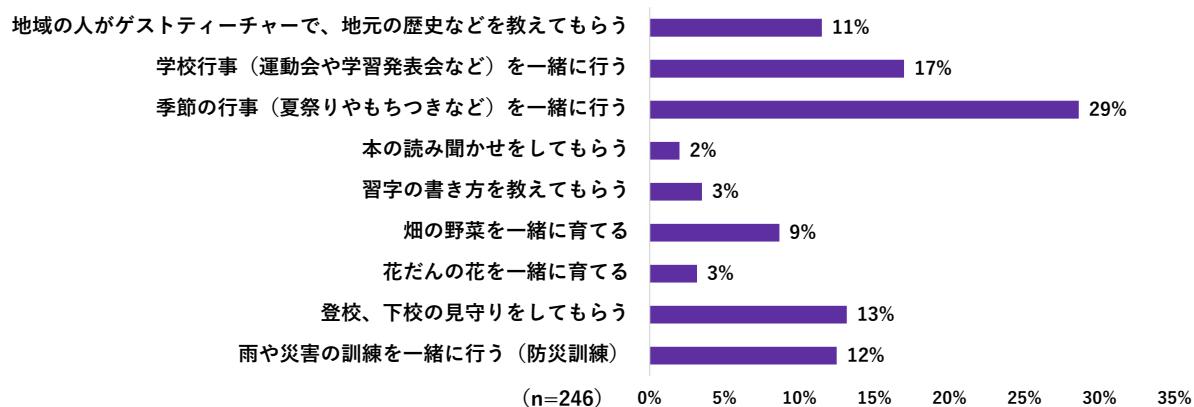
5. もしも新しい学校になった時、あつたらいいなと思うところはどこですか。

※3つまで選べます



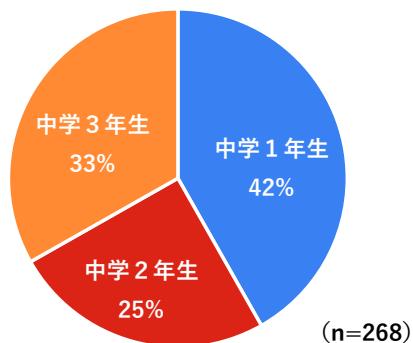
6. 地域の人が学校とかかわるために、どんなことがあるとよいですか。

※3つまで選べます

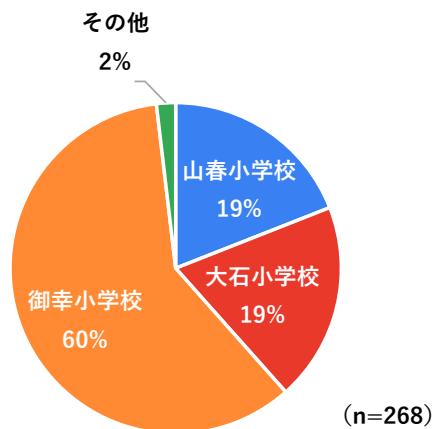


2) 生徒 (浮羽中学校 中学1年生～中学3年生)

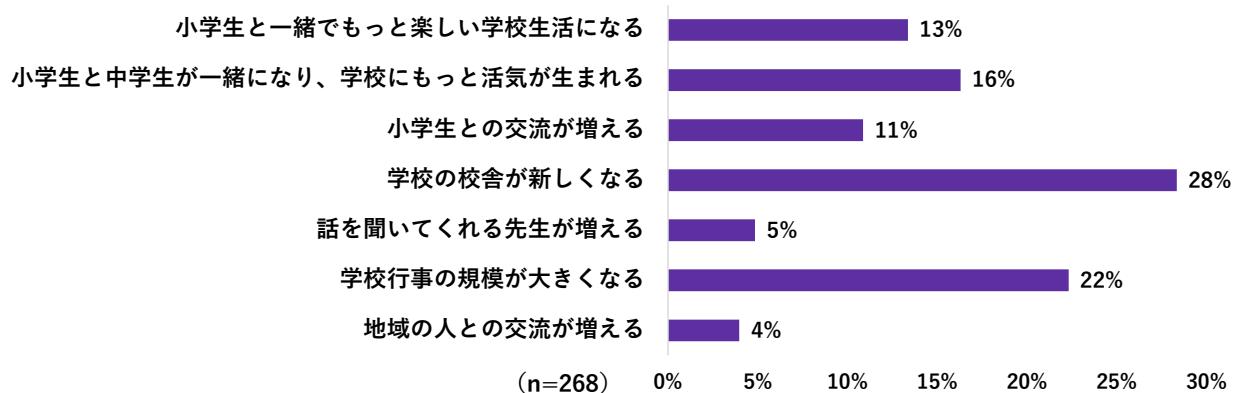
1. あなたの学年を教えてください。



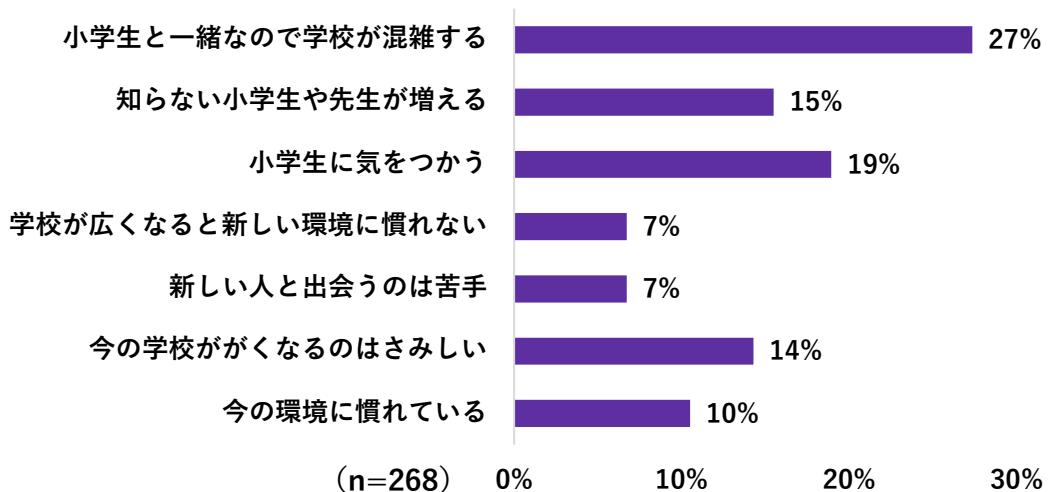
2. あなたはどの小学校を卒業しましたか。



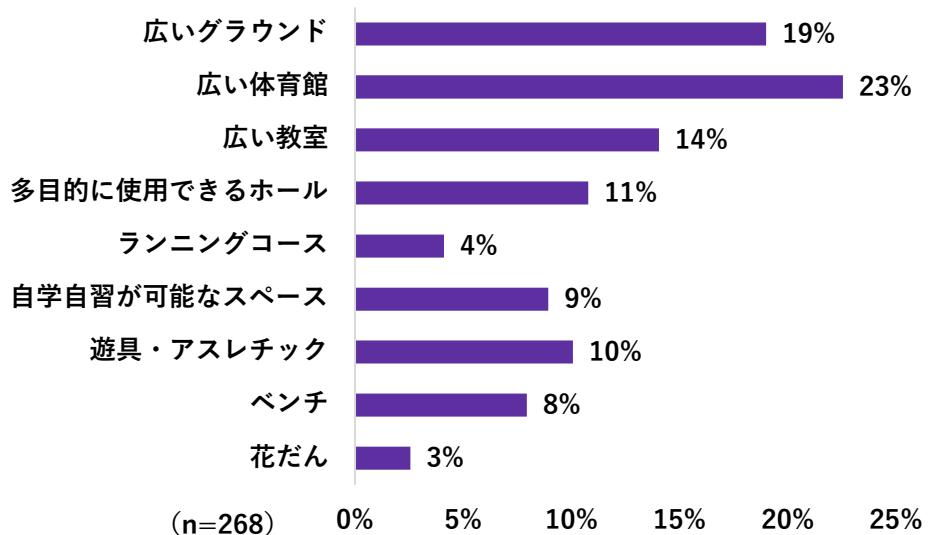
3. 新しい学校を建てて、浮羽町域の3つの小学校と浮羽中学校が1つの学校になるとしたら、「こうなるといいな」と思うものがありますか。※3つまで選べます



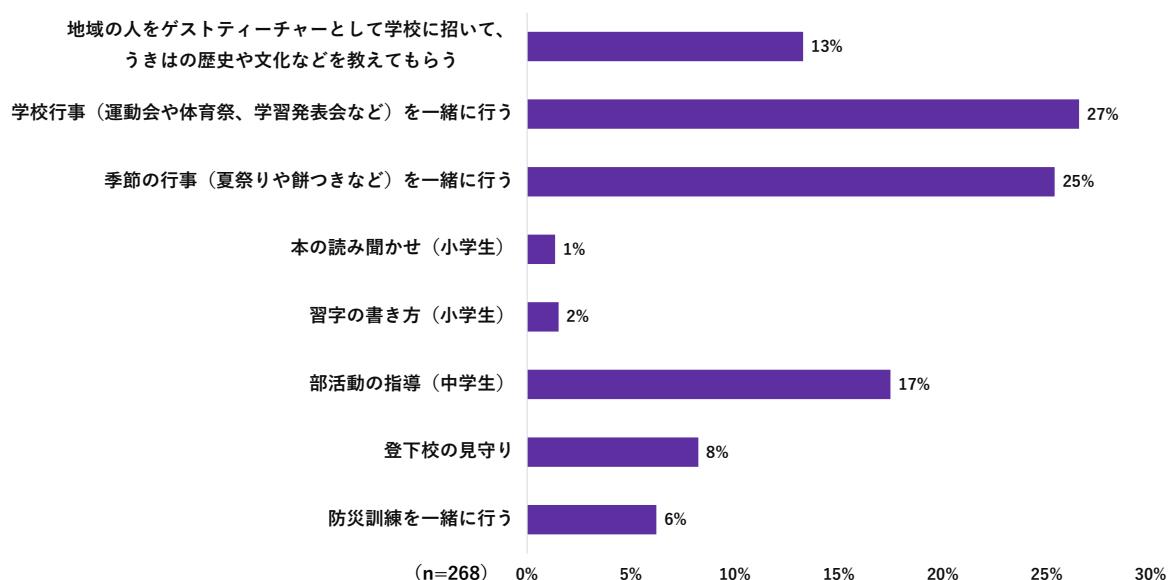
4. 新しい学校を建てて、3つの小学校（山春小・大石小・御幸小）と浮羽中学校が1つの学校になるとしたら、「これは気になる」と思うものがありますか。※3つまで選べます



5. 新しい学校にどんな場所やものがあるとよいですか。※3つまで選べます

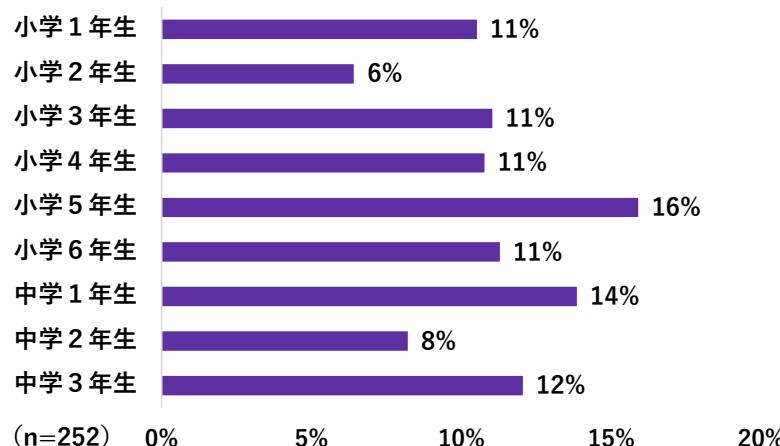


6. 新しい学校で地域の人と学校にどんな関わりがあるとよいですか。※3つまで選べます

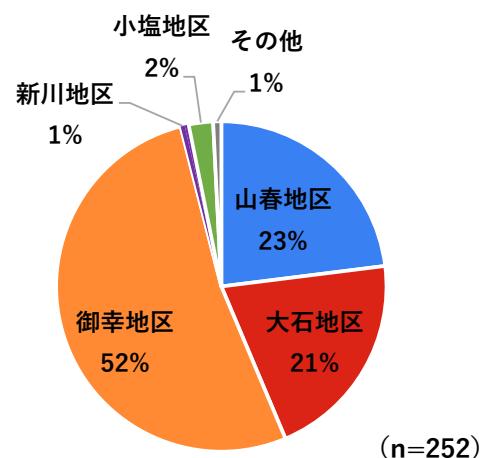


### 3) 保護者（浮羽町域小・中学校の保護者）

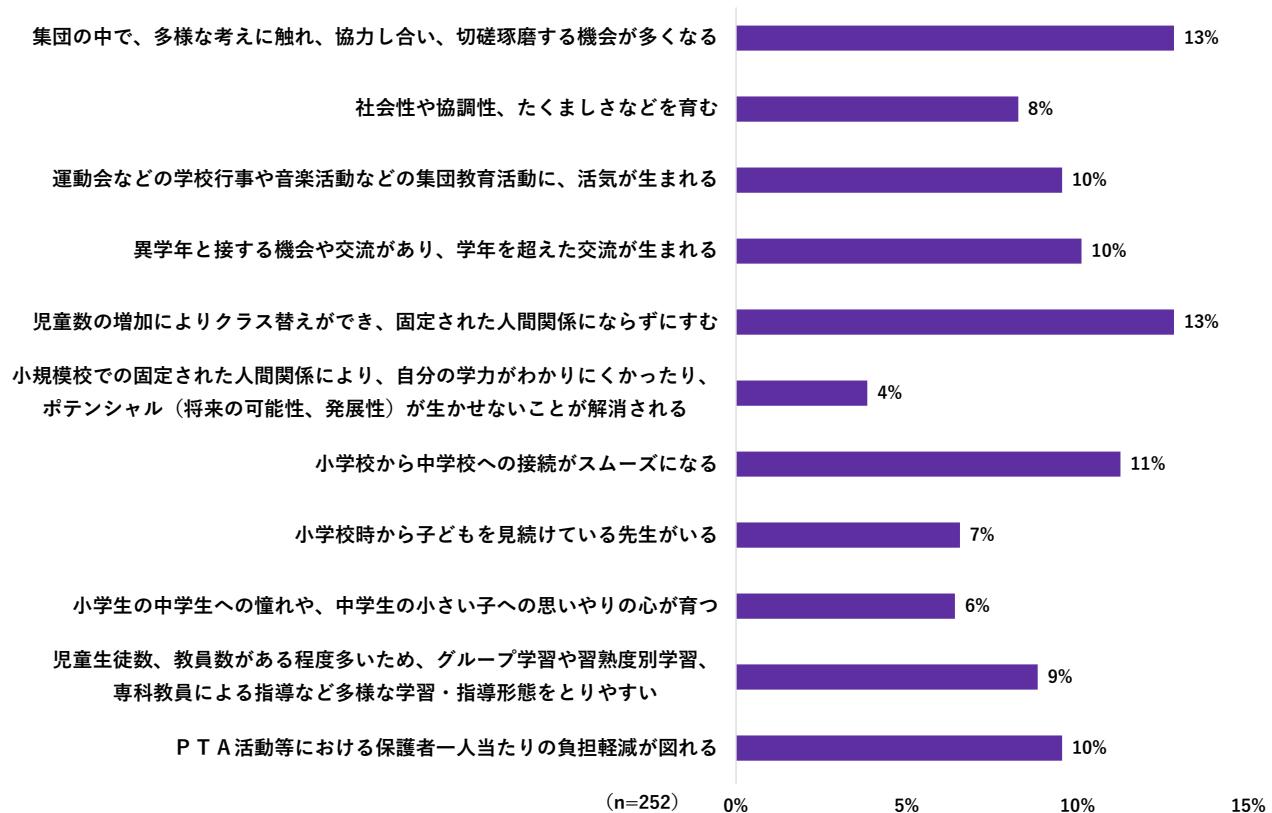
1. お子さんの学年を教えてください。  
(該当する学年を全て選択してください)



2. お住いの地域を教えてください



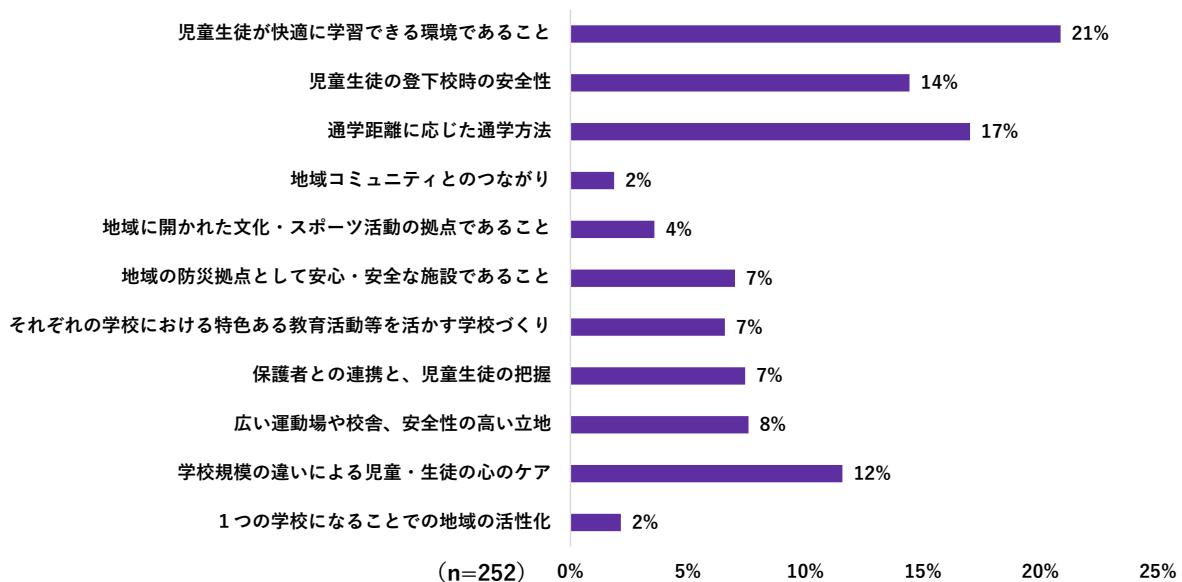
3. 新しい学校を建てて、浮羽町域の3つの小学校と浮羽中学校が1つの学校になることを想定した場合、必要だと思うものを3つまで選択してください。



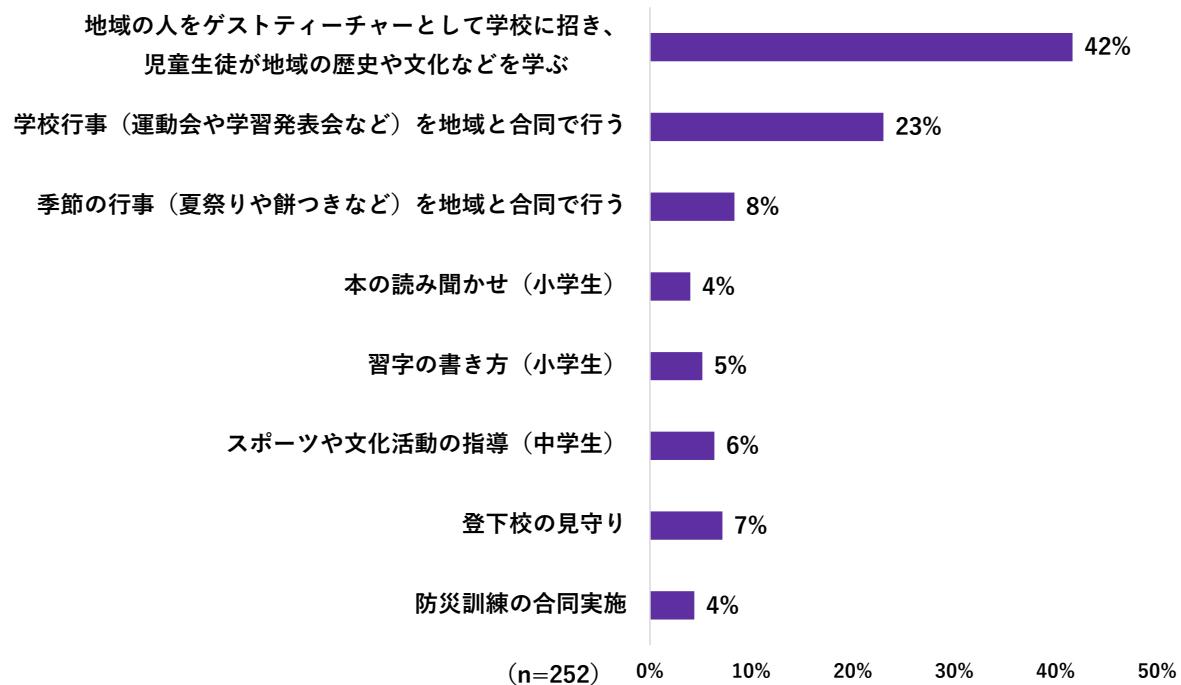
4. 新しい学校を建てて、浮羽町域の3つの小学校と浮羽中学校が1つの学校になることを想定した場合、不安だと思うものを3つまで選択してください。



5. 新しい学校になることを想定した場合、学校に期待する機能や必要な配慮はどのようなものがあると思いますか。近いものを3つまで選択してください。



6. 新しい学校になることを想定した場合、地域の人と学校にどんな関わりがあるとよいと思いますか。近いものを3つまで選択してください。



(3) 新しい学校のあり方についてのワークショップ（18歳以上の市内在住者）

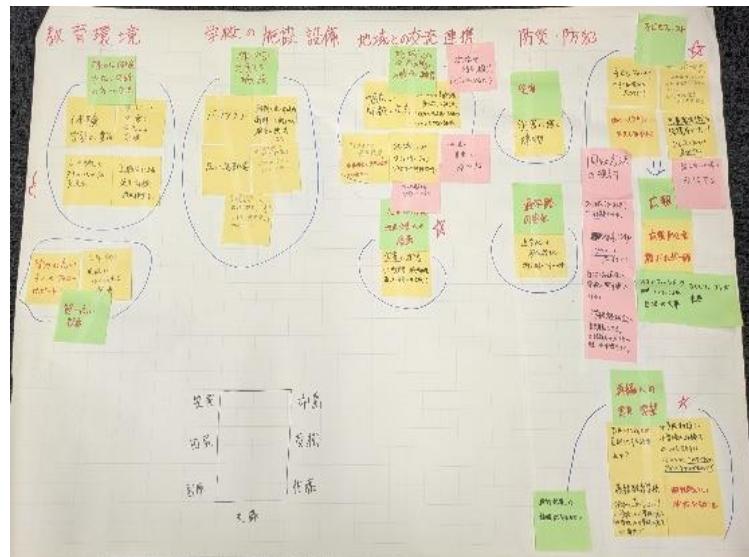
	A班	B班	C班
1. 主な 意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い年齢層やPTA等の地域との交流の場の機会確保が重要である。部活の特別顧問や地域行事への参加により、交流の機会を作っていくのではないか。</li> <li>・工場見学や職場体験等、企業と連携して地元企業への愛着を持ってもらえるようになるとよい。</li> <li>・子どもが使う施設のため、子どもファーストとすることが重要である。当事者意識をもち、口コミ等の広報で話し合いの場に参加してもらう必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が学校に関わりやすい相談窓口や不登校の生徒の支援に関する環境が整備されるとよい。</li> <li>・図書館や中庭などの施設が学校生活だけでなく放課後でも子どもたちの居場所になれるとよい。</li> <li>・うきは市の山間部との交流、農業などの企業とタイアップした授業や、iPadの柔軟な活用など、子どもたちが多様な教育に触れる機会があるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一に学校施設等のハード面が重要である。広さや空調等の快適性や児童生徒が関りを持てる教室等の動線設計を求める。</li> <li>・ICT教育や子ども達の豊かな感性を育めるよう、専門知識や技術を備えた幅広い教員が必要である。</li> <li>・地域や社会とのかかわりを持ちつつうきはらしさを出せるよう、地域産業を活かした職場体験を行えるとよい。</li> </ul>
2. まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもファーストに取り組むことが特に重要であり、その上で地域の方や地元企業との交流をおこない、地元への愛着を持ってもらうことがよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と連携した良好な教育環境や、子どもの居場所となるような施設が重要であり、その上で、子ども達が多様な教育を享受できる環境整備が望ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・充実した施設を整備するハード面が特に重要であり、その上で子ども達の教育の充実や地域との関わりの構築を行うことがよい。</li> </ul>

## ◎ ワークショップの様子（フォトギャラリー）

### ● A班



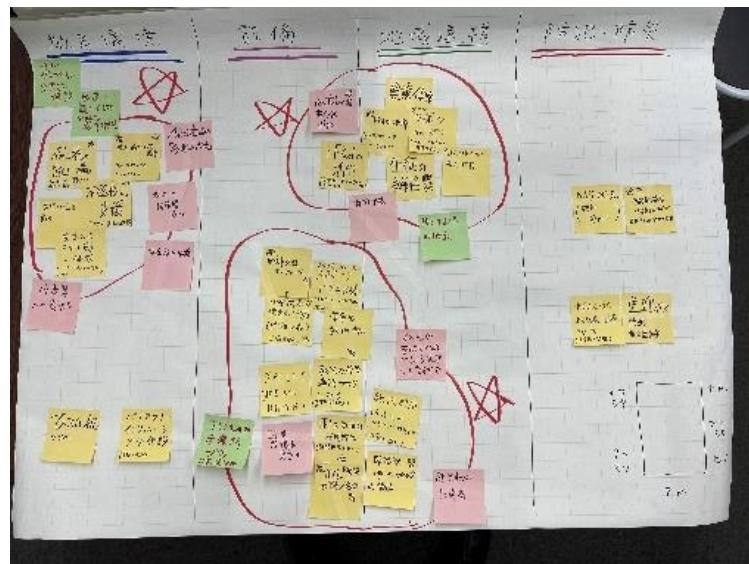
### A班まとめ



### ● B班



### B班まとめ



### ● C班



### C班まとめ

